

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

施設名 山梨県立介護実習普及センター  
 所管課 福祉保健部 健康長寿推進課  
 指定管理者 社会福祉法人山梨県社会福祉協議会

1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度					委託料総額 (単位:円)
指定管理者名	出資 法人	指定期間				
社会福祉法人山梨県社会福祉協議会		H18.4.1	～	H21.3.31	3年	97,046,700
社会福祉法人山梨県社会福祉協議会		H21.4.1	～	H26.3.31	5年	174,566,000
社会福祉法人山梨県社会福祉協議会		H26.4.1	～	H31.3.31	5年	179,071,000
社会福祉法人山梨県社会福祉協議会		H31.4.1	～	R5.3.31	4年	143,277,773

2 施設の概要

所在地	甲府市北新1-2-12
設置年月日	平成9年4月1日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立介護実習普及センター設置及び管理条例
設置目的	高齢者の介護に関する知識及び技術を普及し、もって高齢者の福祉の向上を図るため。
主な業務の内容	(1)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (2)高齢者の介護に関する講座及び研修の実施に関する業務 (3)高齢者の介護に関する相談及び情報提供に関する業務 (4)高齢者の介護用機器に関する展示に関する業務
主な施設内容 (定員等)	○延床面積 447.30 m <sup>2</sup> (山梨県福祉プラザ1階) ・福祉用具展示室 160.05m <sup>2</sup> ・介護実習室 142.60m <sup>2</sup> ・事務室 29.58m <sup>2</sup> ・調理実習室 68.75m <sup>2</sup> ・相談室 13.20 m <sup>2</sup> ・自助具室 13.12m <sup>2</sup> ・倉庫 20.00 m <sup>2</sup>
備考 (改築工事等の状況、 一括管理施設等)	

## 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

### 3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
収入合計	36,098,742	36,323,732	36,083,000	34,699,397	36,154,176	
支出合計	36,010,519	35,624,364	35,804,441	33,846,682	36,737,197	
収支差額	88,223	699,368	278,559	852,715	△ 583,021	

### 4 利用状況、利用者満足度の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用実績	13,400人	13,231人	14,073人	3,884人	6,155人	利用者数
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

### 5 運営目標の達成状況(令和3年度)

介護知識・技術の普及、介護機器・福祉用具の啓発及び介護に関する相談体制の強化を目標として施設運営に取り組んだが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うセンターの休館や、介護講座を中止した影響で利用者数は6,155人となり、目標値11,836人に対して5,681人(48%)の減となった。  
介護講座の開催周知については、新たにセンターのホームページ、インスタグラム、フェイスブックを開設し、PRを図るとともに、県立高校家庭部会を訪問し、講座の活用を依頼した。

### 6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和3年度)

施設管理・運営業務・自主事業等について、条例、協定等に基づき概ね適正に履行した。新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和2年度と比べ、休館はあったが開催した講座は多く、利用者は大幅増となった。  
特に講座や介護機器普及事業(福祉用具展示)の普及啓発に係るアンケートの中で、利用者の満足度/理解度は非常に高いことが伺える。  
介護講座の開催可否等は、新型コロナウイルス感染症防止のため、その都度協議を行うとともに、手指消毒やパーティション設置など、県の感染拡大予防ガイドラインに則したチェックリストを活用し、適切な感染症防止対策を講じるよう指導を行い、適切な対応が講じられていることを確認した。  
引き続き、適切な新型コロナウイルス感染症対策を講じるとともに、高齢化や認知症者の増加が見込まれる本県の状況を踏まえ、在宅介護に対する知識や認知症に対する理解が促進されるよう、取組みの充実が図られることを期待する。

### 7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和3年度)

受講者数は令和2年度と比較すると大幅に増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止または対面をオンラインに切り替えて開催した研修があった。  
令和3年度も、関係機関との周知連携を深め、家族介護者及び企業・団体などにおける新たな利用者を増やすため、新たに開設したセンターのホームページ、フェイスブック、インスタグラムなどを活用し、一層の利用者数の増加に努めた。  
さらに、多様化する受講者や利用者のニーズに対応するため、カリキュラムや展示、相談、助言方法の見直しを行うとともに、認知症対策などの重要課題については県下全域へ普及を図るための事業を展開した。  
利用者に安心して来館してもらえよう、パーティションの設置やフェイスシールド、マスクの着用等感染症対策を講じるとともに、オンラインにも対応できるよう設備を整え、積極的に対応した。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

施設名 山梨県立介護実習普及センター  
 所管課 福祉保健部 健康長寿推進課  
 指定管理者 社会福祉法人山梨県社会福祉協議会

1 利用状況 (単位:人、%)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	利用者数	13,400	13,231	14,073	3,884	6,155
	(うち受講者数)	(3,892)	(2,881)	(3,195)	(759)	(1,757)
	利用者数合計	13,400	13,231	14,073	3,884	6,155
	目標値	11,604	11,836	11,836	11,836	11,836
	実績/目標割合	115.5%	111.8%	118.9%	32.8%	52.0%
	目標値の設定方法	現行の指定管理(R1~R4)の策定時において、直近(R2)と同数を目 標値として設定した。				
利用率	稼働率等(利用率)	111.8%	82.8%	92.0%	25.5%	59.1%
	稼働率等(利用率) の算定方法	受講者数/受講定員(基本事業、支援事業、養成事業)				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設 内容等	

3 補修工事等の状況(令和3年度) (単位:円)

管 事務室の電動ブラインド修理	89,980
-----------------	--------

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件20万円未満の修繕等は指定管理者が実施  
 \*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和3年度) (単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収 入	A 収入額計	36,098,742	36,323,732	36,083,000	34,699,397	36,154,176
	指定管理委託料	36,080,242	36,298,232	36,055,000	34,699,397	36,136,376
	調理実習実費	18,500	25,500	28,000		15,500
	オレンジリング販売代金					2,300
支 出	B 支出額計	36,010,519	35,624,364	35,804,441	33,846,682	36,737,197
	人件費	23,642,340	23,735,203	23,905,042	21,321,823	23,453,363
	光熱水費	1,394,198	1,394,198	1,232,523	1,199,533	1,275,134
	修繕費	275,400		66,226	97,447	89,980
	保険料	29,052	23,452	29,570	10,300	27,010
	消耗品費	1,235,026	1,646,830	1,091,817	4,023,439	1,416,710
	諸謝金	2,334,900	2,282,000	2,207,750	737,500	2,509,500
	旅費交通費	385,811	401,830	454,773	124,474	325,818
	印刷製本費	2,200,402	2,123,716	2,844,847	1,633,897	2,908,088
	通信運搬費	751,462	465,446	382,388	323,561	456,023
	会議費	66,320	49,062	54,151	9,816	53,426
	広報費	365,880	352,080	60,000	60,550	
	賃借料	1,084,750	1,016,172	747,808	1,355,628	1,215,498
	燃料費	16,450	17,873	17,590	6,410	11,020
	手数料	245,592	188,852	127,002	151,327	264,791
	諸会費	143,160	73,660	129,000	51,000	250,000
	租税公課	1,839,776	1,853,990	2,104,354	2,087,787	2,332,336
	器具及び備品費			176,000	536,690	
	外部委託費			173,600	115,500	148,500
	業務委託費			173,600	115,500	148,500
外部委託比率	0.0%	0.0%	0.5%	0.3%	0.4%	
県への納付金						
収支差額(A-B)	88,223	699,368	278,559	852,715	△ 583,021	
一人当たり指定管理者委託料*	2,692.6	2,743.4	2,562.0	8,933.9	5,871.1	

\* 指定管理者委託料÷利用者数(単位:円)

(参考)自主事業に係る収支状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
C 収入額計					
D 支出額計			25,403		
収支差額(C-D)			△ 25,403		

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

6 利用者満足度

実施方法等	(1)実施時期:令和3年4月～令和4年3月 (2)実施方法: ①基本事業(認知症サポーター養成講座等)受講に関するアンケート ②支援事業(テーマ別介護講座等)受講に関するアンケート ③養成事業(介護職員研修等)受講に関するアンケート ④展示に関するアンケート (3)回答数: ①803人(回収率:87.2%) ②講義:309人(回収率:78.3%)、実技:113人(回収率:87.6%) ③394人(回収率:82.2%) ④130人(回収率:53.2%)			
		満足	どちらかといえば	どちらかといえば
①講座の評価	77.6%	19.8%	2.1%	0.5%
②講座の評価(講義)	69.4%	30.2%		0.4%
②講座の評価(実技)	75.8%	23.2%		1.0%
③講座の評価	76.9%	22.8%	0.3%	
④展示の評価	83.8%	15.4%	0.8%	
施設全般の満足度	69.0%	29.8%	0.7%	0.5%
利用者の主な意見	<p>&lt;講座&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の母と毎日暮らしていて心が重くなる日々だったが、この講座を聞いて心が軽くなった。</li> <li>・近い将来、両親への心構えができてよかった。また介護の準備を具体的に知ることができてよかった。</li> <li>・実技があり、分かりやすく自分でも体験できた。</li> <li>・グループワーク等を実践してみて、自分たちが支援することを考えさせられた。</li> <li>・コロナで受講が心配だったので、オンラインで安心感があった。</li> </ul> <p>&lt;展示&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示品の種類が多く、驚いた。</li> <li>・職員の説明が上手で、展示福祉用具は色々と工夫され、また研究されていることが理解できた。</li> <li>・実際に目で見て触れることが良かった。</li> <li>・毎年来所しているが、福祉用具が進化していることに驚いた。</li> </ul>			
利用者の意見への対応	<p>アンケートの集計結果では、満足・どちらかといえば満足という意見が多いが、さらに満足度を高めるため、より充実した内容の講座や展示となるような工夫や内容の見直しに努める。</p> <p>また新型コロナウイルス感染症の影響により、中止を余儀なくされた講座については、引き続き県担当課と相談のうえ感染対策を十分に講ずるとともに、オンライン配信を拡充し、指定された研修の開催に努める。</p> <p>オンライン研修では、実技を伴う研修もあることから、講師と相談しながら、より分かりやすい研修の実施に努める。</p>			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

7 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>毎朝の部分清掃に併せて破損や盗難、故障がないかチェックを行った。                      電動展示品など危険を伴う機器もあるため、見学時には必ず職員が立会い、事故のないよう努めた。                      休憩時間等の消灯など節電に努め、光熱水費の縮減を行った。</p>	<p>清掃、設備の点検が事業計画書どおり実施されており、安全な展示室づくりに努めている。</p>
運営業務	<p>令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者は減少した。(目標利用者数11,836人 実績6,155人)                      講座・研修については、感染対策として、また遠方の方にも受講できるようオンライン配信を実施した。                      福祉用具の展示については、見学しやすいようレイアウトを変更するとともに、個々のタグについて利用者が分かりやすい内容に見直した。                      また新規の福祉用具については広報紙「やまなしの福祉」やフェイスブック等のSNSに紹介記事を掲載し、福祉用具の普及啓発を図った。</p>	<p>事業報告や現地確認の結果、適正に実施されている。新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった講座もあるが、オンラインを活用するなど、なるべく多くの講座を開催しようと努める姿勢は評価できる。                      また、展示室のレイアウト変更や展示品の更新など利用者目線での事業展開を行っているとともに、フェイスブック等のSNSを活用しながら、PR活動を引き続き行ってもらいたい。</p>
利用状況	<p>令和2年度と比較すると来館者や講座受講者は増加に転じたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり相談者数、福祉用具などの貸出事業は低調だった。                      (来館者、受講者計 R3年度5,549人、R2年度3,111人)                      (相談者、貸出事業計 R3年度328件、R2年度423件)                      令和4年度についても感染予防対策を講ずるとともに、実技においてはモデル人形を用いた講師によるデモンストレーションに代替したり、オンライン配信の実施により、より多くの講座を開催するよう努める。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、センターの休止や講座中止などがあつたが、オンライン開催や実技をモデル人形を活用したデモンストレーションを行うなどにより、中止する講座が少なくなり、利用者が令和2年度と比べて大幅に増加した。                      適切な新型コロナウイルス対策や講座内容の変更、オンライン講座への切替などにより、受講者や利用者が更に増加するよう、努めていただきたい。</p>
収支状況	<p>新型コロナウイルス感染症に対応する経費として手指消毒液やアクリルパーテーション、CO2モニターなどの消耗品を購入。                      また、オンライン講座を開催するため、介護実習室内にインターネット配線の敷設工事を行い、またZoomウェビナー契約などの経費を支出した。</p>	<p>利用者数の大幅な増加に伴い、令和3年度の利用者数1人当たりの経費が令和2年度を大幅に下回っている。                      また、令和2年度を上回る講座開催により、講座開催に要する費目(諸謝金、旅費交通費など)が増加している一方で、令和2年度に新型コロナウイルス感染症対策に係る消耗品を多数購入したため、消耗品費は大幅に減少している。                      引き続き予算の効率的な執行に配慮するとともに、消耗品の購入に際しては、必要性を見極めたうえで、慎重に判断いただきたい。                      備品購入については、計画的に行い、予め県に協議することを徹底いただきたい。</p>

### 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

<p>自主事業</p>	<p>家族介護者向けの介護講座の充実を図っており、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業を実施した。 企業や学校から出前講座の要請が大幅に増加した。(R3年度 30講座、R2年度 4講座) 貸出事業のうち、「高齢者疑似体験セット」は使い回しを避けることを条件として、貸出を再開した。 要望の少ない講座もあることから、令和4年度も引き続き講座の周知を積極的に行い、利用者の増に努める。</p>	<p>令和2年度と比べ、事業者向けの認知症サポーター養成講座などを始め、外部からの講座の要望は多かった。 「高齢者疑似体験セット」の貸出は、センターと協議し、条件を付したうえで、貸出を再開した。 引き続き、アンケート等により、県民ニーズを把握のうえ、要望の少ない講座が活用されるよう、周知等を創意工夫し、実施していただきたい。</p>
<p>利用者満足度</p>	<p>アンケート結果から、展示室利用者、研修受講者とも概ね「満足」との評価を得たが、引き続き利用者、受講者が満足する事業の充実に努める。</p>	<p>「満足」「どちらかといえば満足」という意見が9割以上であり、利用者の満足度は高いことが伺える。引き続き、県民ニーズを把握のうえ、各種事業の展開を図っていただきたい。</p>

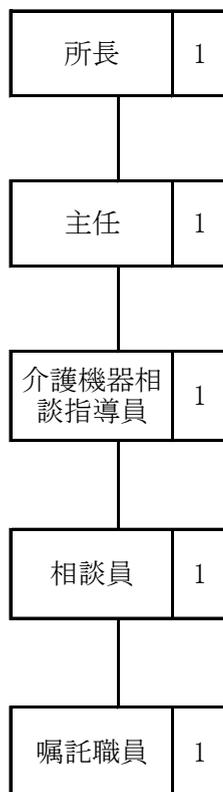
### 8 施設所管課による定期評価結果

<p>施策推進業務の内容</p>	<p>評価</p>	<p>改善内容</p>
<p>講座開催の満足度向上</p>	<p>アンケート結果の講座全体の満足度/理解度において、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した方が90%を目標に設定。 結果、センター開催の講座(基本事業、支援事業、養成事業)における満足度は、90%を超え、実績が目標を上回る結果となった。</p>	<p>オンラインによる実技講座は、相手の反応がわかりにくく、受講者に伝えることは難しいと考えるが、創意工夫により、受講者に分かりやすい講座となるよう、努めていただきたい。 また、過去のアンケートを参考に、講師と連携しながら、受講者の満足度を高めるような講座になるよう努めていただきたい。</p>
<p>介護機器普及事業(福祉用具展示)</p>	<p>アンケート結果の講座全体の満足度/理解度において、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した方が90%を目標に設定。 結果、福祉用具展示利用者の満足度は、90%を超え、実績が目標を上回る結果となった。</p>	<p>引き続き、展示室のレイアウト変更や展示品の更新など利用者目線での事業展開を行うとともに、ホームページ刷新やSNSを活用した周知を行うなど、積極的なPR活動を行ってほしい。</p>

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

## 9 管理体制(組織図)

令和3年4月1日現在



所長	1人
主任	1人
介護機器相談指導員	1人
相談員	1人
嘱託職員	1人
合計	5人